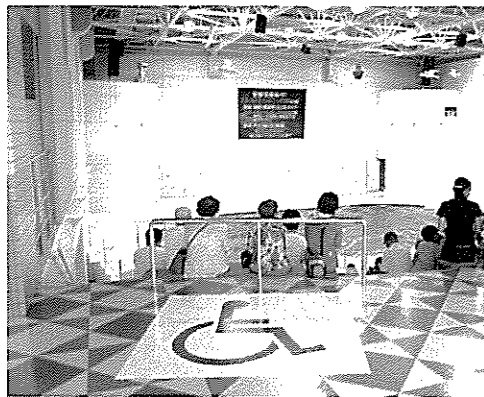


KAGOSHIMA

鹿児島島のいろいろな建物や施設、あるいは人の心の中にあるバリアを取りはらわれています。一人ひとりが、より快適で自由に暮らしが営めるように。

バリアフリー最前線

Barrier Free-Saizensen



車いすスペース



ボランティア「ありがとう」のひとことがうれしい。

●かごしま水族館いおワールドが開館して約十年。各階の障害者優先トイレやベビーカーなど、開館当初は最新だったバリアフリー施設も、現在ではどんな施設でも当たり前のものが増えてきています。その中で、いおワールドが取り組むバリアフリーのいちばんの特徴といえは、百人以上が登録しているボランティア・スタッフ。高齢者・障害者の方々が気持ちよく館内を観

覧できるように移動の手助けや案内の活動をしている。ただ黙って車いすの誘導をするというのではなく、訪れた方みんなに「海の感覚」を堪能してもらえよう。ボランティアがそれぞれ鹿児島島の海のことなどを勉強し、案内に生かしている。みんなが海を楽しめる場所にするため努力しているボランティアは、いおワールドに欠かせない存在になっている。

ボランティアが支える水族館のバリアフリー

いおワールドかごしま水族館

FILE No.1 (鹿児島市)

住所 鹿児島市本港新町3番地1
TEL 099-226-2233
メール info@ioworld.jp
ホームページ http://www.ioworld.jp/



いおワールド全景

いおワールド「いるかの時間」の手話解説

獣医師 大塚美加さん

FILE No.2 (鹿児島市)

手話解説のつく「いるかの時間」の時間帯や、高齢者・障害者の団体への対応等については、いおワールドに連絡して、事前にご確認ください。



大塚美加さん



大塚さんの手話は優しくして元気がいい

「いやな」と思い立ったそう。そこで、聴覚障害者のためのバリアフリーな社会づくりに取り組んでいるNPO法人「デフNET」かごしまの澤田利江さんらの協力を得て、二〇〇五年八月から手話解説を始めた。準備は大変だったが、聴覚障害の方から「よく分かって、すごく楽しかった」と喜んでくれた。また、一般のお客様の反応もよく、NHK教育の「みんなの手話」で紹介されるなど反響も大きかった。現在、いおワールドで手話解説をしているのは大塚さんひとりだが、閉館後に手話講座が週一回開かれるようになり、手話への理解がスタッフの間にも広まっていく。

東岸林太郎くんは鹿児島大学水産学部水産学科一年生。感音性難聴で耳はほとんど聞こえない。柔道二段のスポーツマンでもある。鹿児島大学水産学部では、東岸くんの受講に要約筆記者を付けている。初めてを試みだそう。講義では東岸くんは教室の最前列に座り、二人の要約筆記者に挟まれて受講する。要約筆記者は、鹿児島市手話通訳者、要約筆記者派遣運営協議会から派遣された鹿児島市登録要約筆記奉仕員の方たちで、七人が交替で補助している。

水産学部では、授業の専門性やこれからの展望を考え、後期の授業から要約筆記の学生ボランティアを募集したところ、二十五名の応募者があつたという。最初は専門の方に教わる形で、徐々に大学内のボランティアで補助できればと考えているそうだ。東岸くんの存在が大きな輪を広げたともいえそうだ。



鹿児島大学水産学部 東岸 林太郎さん 「いちばんのバリアフリーは、健常者が障害のことを理解することだと思います」



東岸くんと仲間たち

要約筆記学生ボランティア募集

要約筆記者の林園初美さん(左)と青木順子さん。「東岸くんは理解力があるから」とてもうまくいっているそうだ。

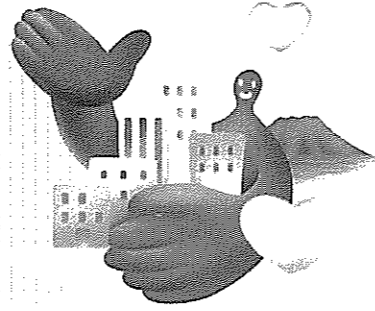
「鹿児島島の人は心が広いって印象がある。鹿児島だけのことでないけど、もつとみんなが手話を覚えてくれたらなーと思います。いちばんのバリアフリーは、健常者が障害のことを理解することだと思います。」

最後に好きな言葉を探ると、「捨てる神あれば拾う神あり」と書いて笑った東岸くん。補足するように「世の中やっぱ、障害のある人、ない人、いろいろながいるからおもしろい」と付け加えた。

10の四年間ひびく「ありは通心」

いろんな人がいるから「ありは通心」

鹿児島県からのお知らせ

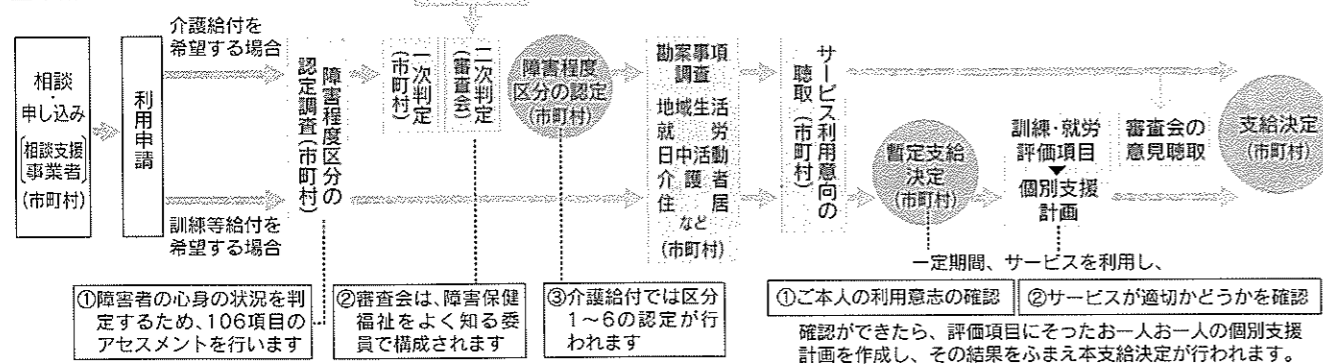


障害者自立支援法が10月から本格的に施行され、障害者に対する福祉サービスの体系や、支給決定の仕組みが変わります。

■新体系によるサービスの種類

介護給付	居宅介護(ホームヘルプ)	自宅で、入浴、排せつ、食卓の介護等を行います
	重度訪問介護	重度の肢体不自由者で常に介護を必要とする人に、自宅で、入浴、排せつ、食事の介護、外出時における移動支援などを総合的にを行います
	行動援護	自己判断能力が制限されている人が行動するとき、危険を回避するために必要な支援、外出支援を行います
	重度障害者等包括支援	介護の必要性がとて高い人に、居宅介護等複数のサービスを包括的にを行います
	児童デイサービス	障害児に、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等を行います
	短期入所(ショートステイ)	自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含め施設で、入浴、排せつ、食事の介護等を行います
	療養介護	医療と常時介護を必要とする人に、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の世話をします
	生活介護	常に介護を必要とする人に、昼間、入浴、排せつ、食事の介護等を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供します
	障害者支援施設での夜間ケア等(施設入所支援)	施設に入所する人に、夜間や休日、入浴、排せつ、食事の介護等を行います
	共同生活介護(ケアホーム)	夜間や休日、共同生活を行う住居で、入浴、排せつ、食事の介護等を行います
訓練等給付	自立訓練(機能訓練・生活訓練)	自立した日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、身体機能または生活能力の向上のために必要な訓練を行います
	就労移行支援	一般企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います
	就労継続支援	一般企業等での就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います
	共同生活援助(グループホーム)	夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行います
地域生活支援事業	相談支援、コミュニケーション支援、日常生活用具の給付、移動支援、地域活動支援センターなどの事業を行います	

■申請から支給決定までの流れ

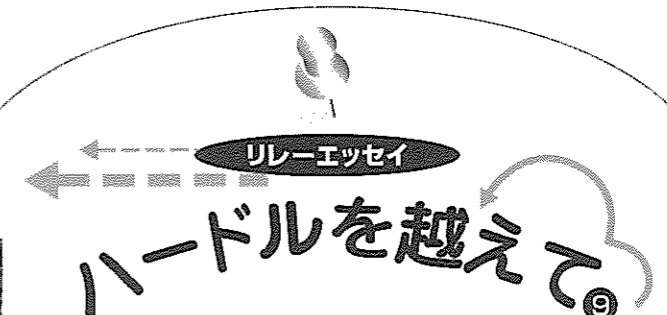


■利用者負担の仕組み

基本は1割の定率負担ですが、所得に応じて次の4区分の月額負担上限額が設定され、ひと月に利用したサービス量にかかわらず、それ以上の負担は生じません。

区分	世帯の収入状況	月額負担上限額
生活保護	生活保護受給世帯	0円
低所得1	市町村民税非課税世帯で、サービスを利用するご本人の収入が80万円以下の方	15,000円
低所得2	市町村民税非課税世帯(例) 3人世帯で障害基礎年金1級受給の場合、概ね300万円以下の収入(例) 単身世帯で障害基礎年金以外の収入が概ね125万円以下の収入	24,600円
一般	市町村民税課税世帯	37,200円

サービスの利用申請は市町村の窓口で受け付けています。このほか、利用者負担については更に、低所得の方に配慮した軽減策が講じられています。詳しくはお住まいの市町村へお問い合わせください。



益田 美喜子さん
～ 陸上が私にくれたもの～

●益田美喜子さん
NPO法人SCCに所属し、2006年5月8日に、イギリス・マンチェスターで開催されたパラリンピックワールドカップに鹿児島県で唯一の選手として出場した。全盲女子400メートルで2位入賞。

「やっと終わったゴールだ」「ごめん。うまく走れなかった、クタクタだ！」
今年5月イギリスで行われた、パラリンピックワールドカップ。全盲女子400メートル、走り終わった瞬間だ。「ハアハア」息切れしながら、やっと伴走者に伝えた私の言葉。

私は現在37歳の、女ざかりの全盲難聴の女性です。そのため走る時には、伴走者と、一つの紐をお互いが持って、安全確保しながら一緒に走ってもらいます。しかも耳も悪いので、走りながら大きな声で、今どこを走っているかを教えてもらいます。ということで、伴走者はとても大変です。それだけに、私にとっては、とても大切な存在です。

私は幼いころから、目と耳が悪かったのですが、なんとか高校2年生まで普通学校に通い、その後、極端に視力が低下したので、盲学校で三療士の資格をとり、12年間「あんま、鍼灸師」として病院に勤務しました。耳の方は、両耳の補聴器のおかげで、なんとか会話ができる状態です。そんな私にとって、「走る」ことは生きがいです。でも小さい頃は運動オンチで、走ることも大の苦手でした。

中学生になると、嫌でも走る機会が増えて、単純な私は「遅くても、走ることは楽しいな」と思うようになりました。そして32歳のころ、たまたまハートピアかごしまに遊びに行った時「ジョギングクラブを開くので参加しないか？」と誘われたのをいいことに、「暇つぶしのダイエットになるかな？」と軽い気持ちで始まったのです。

それから5年。いろんなことがありました。伴走者がいなくて思うような練習が出来なくていららしたり、満足するようなタイムが出なくて落ち込んだこと。一般のトレーニングジムから「介護人を連れて来てください」と言われ、一人での利用を拒否されて悔しい思いをしたこと。今でもこれらのことは継続中ですが、でも、楽しいこともいっぱいあります。暑くても、寒くても、雨の日でも、時間をつくって練習に付き合ってくれる心強い友達。困ったことがあると、いつも相談にのってくれるたくましい先輩たち。練習に行くために一人で杖歩行している私に、「大丈夫ですか?」「こっちはですよ」などと声をかけてくれ、さりげなく助けてくれる温かい地域の人たち。それから県外のレースに参加するたびに、「元気だった?」「また会えてうれしいね」と肩をたたいてくれる陸上の大好きな仲間たち。そして新たに会おうアスリートたち。

ただ「走る」というひとつのことを、一生懸命するだけで、たくさんの出会いと勇気を与えられたことに感謝して、これからも走り続けたいと思います。



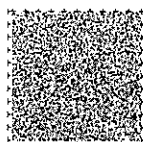
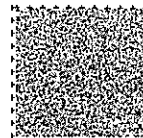
益田美喜子さん



MBCテレビ「ど〜んと鹿児島」(毎週木曜よる7時)でも益田さんと伴走者との奮闘ぶりが紹介されました。



視覚障害を持つランナーを支える伴走者の数は不足しています。SCCでも、伴走者のボランティアを募集しています。SCC:099-229-4222

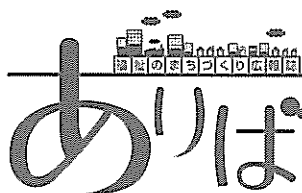


Q ページの隅に置かれている、四角い黒い点々は何ですか？

A これは「SPコード」といいます。バーコードの仲間、QRコードと同じ2次元コードのひとつですが、それぞれシステムは異なります。この18ミリ四方の一つのSPコードのなかに、日本語で約800字のテキスト情報を格納することができ、専用の読み取り機でSPコードを読み込むと、そのページの内容を音声で読み上げることができます。読み取り機は、視覚障害者の在宅生活を支援するための日常生活用具として給付が受けられます。また、SPコード作成ソフトはホームページから無償でダウンロードできます。なお、印刷物でSPコードの位置が分かるように、ページの縁に切り込みを入れています。



SPコード公式ホームページ
<http://www.sp-code.com/about/about.html>



VOL.12 平成18年9月30日発行

「バリア」の逆は「ありば」。
 バリアフリーな社会を築くために、本誌はバリア反対!の意を込めて、
 「ありば」というタイトルにしました。
 みんなに住みよいまちを、みんなで築くために。
 人と人のバリアフリーコミュニケーションをご紹介します広報誌、
 それが「ありば」です。

[感想をお寄せください]

鹿児島県保健福祉部障害福祉課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1
 TEL099-286-2111(内線2746) FAX.099-286-5558
 [E-mail] shougai@pref.kagoshima.lg.jp

[URL] <http://www.pref.kagoshima.jp/home/shogaika/fukumachi/fukumachi-top.htm>

営利を目的とする場合を除き、この本をそのまま読むことが困難な方のために、「録音図書」「拡大写本」等の読書代替物への媒体変換を行うことは自由です。製作の後は上記障害福祉課へご連絡ください。

視覚に障害を持つ方のために、本誌の点字版及び録音図書を鹿児島県視聴覚障害者情報センター(鹿児島市小野一丁目1-1 ハートピアかこしま3F TEL.099-220-5896)に備え付けてあります。

